

議会だより

みなみふらの



第4回定例会概要

2～3 P

一般質問

4～6 P

町長の行政報告

7～11 P

教育長の教育行政報告

12 P

委員会レポート

13 P

臨時会・議会の動き・編集後記

14 P

令和元年第4回定例議会

令和元年12月18日～20日

令和元年第4回町議会定例会は、12月18日に招集され、会期を18日から20日までの3日間と決めた後、監査報告、行政報告、教育行政報告、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、2議員による一般質問が行われました。その後、第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成30年度各会計歳入歳出決算の認定について委員長より認定する旨の報告があり、報告のとおり認定しました。引き続き、条例の一部改正3件について審議し、原案通り可決しました。その後、一般会計及び5特別会計補正予算の計6件を審議の結果、原案のとおり可決し、第1日目を終了しました。

令和元年第4回町議会定例会は、12月18日に招集され、会期を18日から20日までの3日間と決めた後、監査報告、行政報告、教育行政報告、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、2議員による一般質問が行われました。その後、第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成30年度各会計歳入歳出決算の認定について委員長より認定する旨の報告があり、報告のとおり認定しました。引き続き、条例の一部改正3件について審議し、原案通り可決しました。その後、一般会計及び5特別会計補正予算の計6件を審議の結果、原案のとおり可決し、第1日目を終了しました。

一般会計補正予算の主なもの

- ・庁舎修繕料（給水ポンプ） 114万円
- ・南富良野町議会議員選挙費 240万円
- ・高齢者生活福祉センターくまみ園冷房設備整備工事 508万円
- ・北海道農業次世代人材投資事業補助金 93万円
- ・強い農業・担い手づくり総合交付金 363万円
- ・東幾寅線整備事業に伴う改良工事 115万円
- ・内藤橋橋梁補修工事 92万円

条例の制定

○南富良野町会計年度任用職員
の給与及び費用弁償に関する
条例の制定

令和元年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	△ 356万円	39億7502万円
国民健康保険事業特別会計	47万円	2億9810万円
後期高齢者医療事業特別会計	—	3786万円
介護保険特別会計	—	2億9077万円
簡易水道事業特別会計	△ 151万円	1億6945万円
公共下水道事業特別会計	28万円	1億6530万円
合計	△ 488万円	49億3650万円

条例の一部改正

新たに会計年度任用職員制度が施行されることに伴い、現在の臨時・非常勤職員を会計年度任用職員に移行するものです。

○地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

会計年度任用職員制度の施行に伴い関係条例を一括改正するものです。

○職員の分限についての手続及び効果に関する条例

地方公務員法の改正に伴う条項番号の改正及び、会計年度任用職員に関する条項を追加する改正です。

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

○南富良野町長等の給与に関する条例

議会議員及び特別職の6月と12月に支給する期末手当の支給率を合わせて100分の5月引き上げる改正です。

○南富良野町職員の給与に關する条例

人事院勧告に基づき、俸給表の水準と期末手当の支給率を引き上げる改正です。

人事案件

○南富良野町固定資産評価審査委員会委員の選任

令和元年12月21日をもって任期満了となる松井正則氏（幾寅60歳）を引き続き選任したいと同意を求める議案が提出され、無記名投票による採決の結果、全議員の賛成により選任に同意しました。

○人権擁護委員候補者の推薦

酒井智氏（幾寅52歳）を人権擁護委員候補者として推薦することについて、町長から諮問があり、適任と認め答申することに決定しました。

決算審査特別委員会

令和元年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託され、閉会中の継続審査になっていた平成30年度各会計歳入歳出決算の認定は、委員会審査の結果、認定すべきと定例会において委員長から報告があり、報告のとおり認定しました。



鹿野委員長からの報告

審査結果

令和元年第3回定例会において、本特別委員会に付託された、認定第1号平成30年度南富良野町各会計歳入歳出決

算の認定について、令和元年11月12日、13日の2日間審査した結果について報告いたします。

審査に当たっては、歳入財源の確保と歳出経費の執行状況とその事業効果などを精査した結果、認定すべきと決しました。

引き続き歳入については町税及び使用料等の収納に当たり詳細な実情把握のもとに事務を進められ町民負担の公平性を図るためにも納税意識の喚起に努め、滞納の未然防止や回収の強化などさらなる工夫と努力が必要と思われます。

今後とも財政状況は厳しさを増すことが予想されることから、事業執行に当たっては補助金等の特定財源の確保に積極的に取り組まれます。歳出については、各種団体に対する補助金や交付金などの財政援助に当たり従来の内容を踏襲するのではなく今一度、事業の内容や実態を検証し効果的かつ効果的に事業執行されているのか精査する必要がある

あります。

今後の行政執行の上で改善できるものは、形骸化を變える観点からも積極的に取り組まれ、ますます厳しくなる財政状況を的確に把握する中で行政財政改革を進めながら、引き続き公平・公正な行政を基に自主財源の効果的活用と、中長期的な展望のもとで各種事業を推進され、令和2年度の予算編成及び執行への反映を強く願うものであります。

決算審査特別委員会

委員長	鹿野 重博
副委員長	中野 博司
委員	酒井 年夫
委員	阿部 修一
委員	大道 重治
委員	洪谷 浩岐

議決された意見書

～議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係機関に提出しています～

- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書

一般質問（要旨）

酒井 年夫 議員



問 JR根室本線事故による減便に伴うバス接続の対応は

答 下り最終列車に合わせて臨時車両を運行する

① 本町の各種契約のあり方について

酒井 本町においても地方自治法や財務規則にのっとり、種々契約が締結され事業が取り進められているが、本町の契約のあり方について監査委員として各種契約に対してどのように見えてこられたのか。

また、行政に対して今までに契約のあり方について指摘や指導等をしたことがあるのか伺う。

代表監査委員 本町の契約においても地方自治法第234条で売買、賃貸、請負、その他の契約は一般競争入札、指名競争入札、随意契約、または競り売りの方法により締結するもの、また、南富良野町財務規則においても契約については一般競争入札、指名競争入札、随意契約及び競り売り、契約の締結、契約の履行などについて規定されているところである。本町における契約の実態としても、競争入札が原則であり、入札による工事請負契約、委託契約、物

品購入契約、随意契約など各種契約が行われており、法令により定められた審査及び手続きについてそれぞれ契約の締結がなされている。

なお、定期監査の際には契約書及び見積書などの関係書類や帳簿により監査を行っているが、法令等に準拠した契約がなされており、契約の締結についても適正に処理されていることから今まで町行政に対し指摘や指導等は行っておりません。

② 本町の契約の実際について

酒井 本町においても法令等に準じて種々契約がなされ、業務が適正に執行されているが、平成30年度における契約の実績を見ると、1社による随意契約の多い分野が見受けられる。特に町有林の維持や管理のための発注に目立つと思うが、その理由について伺う。

町長 森林組合は本町の森林整備において中核的な役割を担っている団体であり、森林

資源の利活用促進のための事業展開に当たっては、経営の安定と我が町の林業、林産業の活性化を推進するために財政的な支援を進めているところである。今はいろいろな時代の変革の中で、管理型から事業系の森林組合に変わっていく時代でもあると認識しているが、引き続き健全経営に努めていただき連携を密にし、森林政策に努めていく必要があると考えている。

森林組合との随意契約については、我が町の森林資源の活用による地域振興という大きな目標の実現を目指すということが根底にあり、随意契約の規定するところにより執行させていただいている。

森林組合との随意契約については、我が町の森林資源の活用による地域振興という大きな目標の実現を目指すということが根底にあり、随意契約の規定するところにより執行させていただいている。

③ JR根室本線（富良野～東鹿越間）について

酒井 JR根室本線の架道橋損壊による影響が東鹿越～新得間にも多大なる不便さを与えている幾寅～富良野間で、4便減により便によっては東鹿越着から幾寅方面バスの接

続が40分もなく寒い駅舎でバスが来るまでの時間待機させられているが、このことについてJR北海道に対して対応を申し出ているのか。

町長 JR北海道ではこれ以上の対応はできないとのことであり、JR北海道ができないのであれば、行政として対応しなければならない話に至ったところである。町としては、これまでの通常ダイヤに戻るまでの間、土日、祝祭日、年末年始を除く平日に限り、下り最終列車が東鹿越に到着する時刻に合わせて、幾寅、落合までの臨時車両を12月23日から運行するように計画し、その旨各町内会を通じて周知させていただく。



東鹿越駅

一般質問（要旨） 阿部 修一 議員



① 道の駅再編整備について

阿部 道の駅再編整備計画に

ついては、町長より6月第2回定例会の行政報告で再編整備に対しての報告が行われ、第3回定例会で設計に関する予算を可決し、町民に対しては「道の駅再編への取り組みについてのお知らせ」を各戸に配布するなど進められているが、今回、議会報告会を開催した中では、内容について熟知されていなかったり、スピード感を持って進めてはとの意見が聞かされたところである。

再度、計画推進について、事業の概要や事業の工程などについて伺う。

町長 昨年度に引き続き地方創生推進交付金を活用した事業として取り組んでおり、利用者ニーズを整理するための満足度調査をはじめ、昨年度町議会特別委員会の優良事例研修として視察させていただいた郡上大和総合開発株式会

社の水野社長に、道の駅再建の実績者としてアドバイスをいただくこととしており、また、施設運営の担い手となる事業者の意向調査や民間事業者との調整、施設整備に向けた測量、地質調査を行い、基本的な設計を年度末までに取りまとめ、加えて、重点道の駅の選定に向け取り組んでいるところである。

次年度においては工事発注のための実施設計を進めていきたいと考えているが、全ての施設を単年度で施工することが困難であり、年次計画を組み合わせ、順次整備を図っていくように取り進めていきたい。

② 移住者及び住宅対策について

阿部 現在、公営住宅や町有住宅ともに、空き住宅が二桁以上となっている状況である。空き住宅の解消の観点からも、公営住宅等を移住者等に対する試験住宅とするなど検討できないか。また、移住希望

者に対して、町が行っているいろいろな施策を広報やホームページ等による情報発信の強化を図って、移住を希望する方が安心して本町で生活できる支援の発信ができないか、併せて伺う。

町長 公営住宅等の空き住宅については現在、公営住宅で15戸、町有住宅で6戸の住宅が空き状況となっている。今後の空き住宅の対策については、収入基準や単身者の入居基準の緩和を検討し、入居対象者の範囲を広げるとともに、

移住者への周知もしっかり取り組む中で、空き住宅の解消に努めていきたいと考えている。今後、公営住宅の大規模改修を予定しているが、その際には、仮住まいの住宅が必要になるので、この状況も考慮して空き家対策に努めていく。

なお、移住者を呼び込むためのお試し住宅については、観光利用するケースが多く、移住に結びつかないことから取りやめする町村ができていく状況でもあり、優良事例を広く調査し、今後検討していきたい。

③ デマンドバスについて

阿部 デマンドバスについては、いろいろな団体等で利用したい希望があるようだが、バスの運行時間の問題から利用できないとの話もあるので、多くの方に利用していただくことができるよう、運行時間の配慮ができないか。また、現在高齢者の運転免許証の返



幾寅地区の空き住宅

納がいわれていることから、本町においても運転免許証がないと、どこへ行くのも何をするのも大変なことであるので、そのための方策として、デマンドバスの利用を含め、何らかの検討ができないか伺う。

〔町長〕デマンドバスについては、北落合から幾寅間、下山から幾寅間、それぞれ1台ずつ運行しており、地域間の移動、JRとの接続など、重要な公共交通機関であると思っている。今後運転免許証の返納も進むことが現実化して、町としてデマンドバスの重要性はますます増していくものと認識しているが、現行の予算規模において、個々の要望に応じて設定することは、難しいといわざるを得ない状況である。また、運行経費を追加してということも、今の状況では厳しいと考えている。町の行事、イベントの参加に対しては、可能な限り送迎車両を確保して対応していきたい。

運転免許がない方については、JRの問題も抱えている町にとつては大きな課題であり、自助・共助・公助といった補完性も考えながら、適宜対応していきたい。



デマンドバス

〔4〕介護職員等の人材確保について

〔阿部〕介護職員等の人材の確保については、町としても、町だけではなく各施設や事業所、町内外の団体や学校、有資格者の育成など、多くの取り組みを実施しているが、現

在までの取り組み状況や取り組みの結果について伺う。

〔町長〕福祉事業はまちづくりにおいて重要な根幹となっており、中核を担う大乘会、町社会福祉協議会、南富良野町の3者で組織する福祉担い手対策会議において、情報をそれぞれ共有し、職員確保に向けた協力、連携を図ってきている中で、施設職員の中途採用を重点とし、新たに人材紹介業者への登録や近隣市町村への職員募集の新聞折り込みなど、人材確保に向けて取り組んでいる。

また、大乘会では、専門職の奨学金貸付制度の拡充や支度金支給制度の創設を本年度より行っている。

本年度から開始した介護職員初任者研修費助成事業については1名の利用があり、研修を終えられている。さらに外国人介護職員の受け入れについて、大乘会より受け入れたい旨の要請を受けたところである。

今後、事業所だけで人材確

保を図ることは大変厳しい状況であり、引き続き事業所と町が連携しながら人材確保に努めていきたい。

〔5〕防災・減災対策について

〔阿部〕防災・減災対策については、本年度は南富良野中学校への非常用発電機の整備を、来年度については南富良野小学校体育館への非常用発電機の整備をしていただけることとなっているが、金山地区では高齢者施設に非常用発電機が設置されていることから、旧金山小学校の体育館については設備の設置はありません。しかし、高齢者施設が居住施設であること、国道往來の車両が増加していることなどを考えると、旧金山小学校の体育館を避難所に指定し、非常用発電機を整備すべきと思いますが検討できないか伺う。

〔町長〕南富良野町地域防災計画の全面改定を進める中、金山地区の避難所2カ所のうち金山小学校は廃校になり、代

替として和楽園と特別養護老人ホームふくしあを指定させてもらい、従来のコミュニティセンターと合わせて、3施設を金山地区の避難所とする方向で進めている。この両福祉施設は、高齢者居住施設でもあることから、あくまでも災害時の緊急的な、短期的での避難所として利用可能と判断し、ふくしあの運営先である大乘会のご理解もいただき指定させてもらうことになっている。金山小学校は、廃校になっている現状を考えると、避難所として利用するには校舎部分の解体、撤去とトイレ、さらには給水設備の改修、非常用発電機の設置など、多額の費用が見込まれ、財政需要等々考えても、実現するにはなかなか難しい状況である。

町長の行政報告



■南富良野町表彰条例に基づく本年度の表彰

本年度の表彰式を11月3日文化の日に、多数のご来賓ご臨席のもと、自治功労1名、産業経済功労2名、社会福祉功労2名、教育・文化・体育功労1団体並びに1個人、また、永住功労の22名を合わせ、29名の方々に表彰状の授与を行い、その功績をたたえたところであります。

町の表彰につきましては、平成3年から現在の制度となり、これまでに712名の方々が受賞されておりまして、受賞者の皆様には時代の移り変わりの中で、本町の発展と住民福祉の向上に多大なるご

尽力を賜っているところであり、本町の120年余りの歴史と伝統文化を受け継ぎ、守り、支えてくださっております全ての町民の皆様のご努力とご労苦に対しまして併せて敬意を表し、衷心より感謝を申し上げたところであります。

■町への土地の寄贈

このたび、金山の佐藤商会より、社有地、金山470番地外4筆、2382㎡について、町へ寄贈したい旨申し出て、町へ寄贈しました。申し出ていただきました。申し出については、旧富良野信用金庫金山支店のあった472番地、474番地、476番地の3筆、計1310㎡については、

建物の解体も完了し更地となつていることから、本年度中に寄贈を完了し、現在ガソリンスタンドのある土地470番地及び471番地の2筆、計1072㎡については雪解けを待ち、来春以降解体し、更地にした上で寄贈したいと



寄贈を受けるスタンド跡地

のことでありますので、この申し出を受けるとともに、土地活用については、今後地域の皆様とも協議してまいります。

■「鉄道員(ぼっぼや)」公開20周年記念上映会における収益金と会場募金の寄附

平成11年、JR幾寅駅を中心に撮影された映画「鉄道員(ぼっぼや)」が公開されて20年が経過いたしました。このたび撮影当時に映画の制作に

携わったスタッフの皆さんにより、幾寅駅「鉄道員(ぼっぼや)」ロケセット保存応援団が結成され、高倉健さんの5回目の命日に当たる11月10日、東京丸の内TOEIにおいて「鉄道員(ぼっぼや)」公開20周年記念上映会が開催されました。

この応援団の結成による記念上映会は、南富良野町には20年たった今でも、映画のもう一つの主役である幌舞駅が撮影当時のまま存在し、駅舎や駅前のロケセットも健在で、駅舎の一角には撮影時に使用された小道具や衣装をはじめ、ポスター、スチール写真などの展示品が飾られていることは撮影時に多大な協力をいただいた町役場や婦人会など、地元の方々の心を込めた思いのおかげであり、主演であった高倉健さんの計報を受けた際には、駅長の机に献花台が設置され、本年5月に降旗監督が逝去された際にも記帳台が設けられ、全国から大勢の方々が記帳に訪れていただいたことなど、20年たっても、世の中人も変わっていく中、変わらずにあり続ける幌舞駅の意が込められており、上映会では500席の会場はほぼ満席の大盛況で、映画に出演された小林稔侍さんをはじめ、大竹しのぶさん、広末涼子さん、カメラマンの木村大作さん、原作者の浅田次郎さんが駆けつけ、舞台挨拶では当時の思い出が語られ、小林稔侍さんは南富良野町のロケセットを旅番組で訪問したことを振り返り「高倉さんの祭壇まで駅の中に作ってくれて、映画同様、愛情を持って町の人たちが保存してくれた」と感謝の言葉が述べられたとのことでありました。

また、当日の会場には募金箱も設置され、上映会の収益金の一部と合わせて、東映株式会社から35万4571円をロケセットの維持に役立ててほしいと町に寄附の申し込み

がありましたので、去る12月2日に受領させていただきました。

今回の特別上映会の企画や寄附については、長い間ロケセットを保存してきた行政はもとより、常日ごろから駅舎内や周辺の美化のご協力をいただき、また、高倉健さんの

命日には毎年「しのぶ集い」を企画し、駅舎を訪れた皆さんに、芋だんごやコーヒーを無料で振る舞うなど献身的な活動に取り組んでこられた婦



ぼっばやロケセット

人会の皆様これまでのご労苦が、関係者の皆さんの心に残り響いたものと私からも改めて感謝を申し上げますところであります。

今回を契機といたしまして、東映株式会社との連携を深め、引き続きロケセットの保全に努め、現在も年間2万人を超えるファンの皆様を訪れておりますので、本町における大きな観光ポイントとして、さらなる誘客に取り組んでまいりたいと考えております。

■平成28年の台風により被災した農地における営農復旧に向けた取り組み状況

被災農地の営農復旧については、これまでの被災農地の復旧や地力の回復などに取り組んできたところでありますが、今後さらなる的確な対策を実施していくために、また、併せて、平成28年の豪雨の影響を受けた幾寅地区の農業生産者に対して、個別に要望事項やご意見などを伺うアン

ケート調査を実施してまいりました。

その後、農業生産者も加わる中で検討会を開催し、具体的な意向把握に努めた結果、収益性を高めるため、基盤整備などの早期実施のご意見が多数を占めており、現在、事業実施に必要な圃場ごとの施工面積や具体的な工種の選定など、詳細なデータの聞き取り調査を開始しており、年内にはそのデータをもとに概算事業費や事業スケジュールなどについて北海道と本格的な協議を開始していく予定であります。

町としましては、明年度から町が事業主体となる農地耕作条件改善事業により農地の基盤整備に取り組む、営農復旧を加速してまいりたいと考えており、できるだけ早い時期に、事業費負担に対する具体的な支援なども農業生産者へお示しさせていただき、事業推進に努めてまいりたいと考えております。

■令和2年度開発予算への要望活動

初めに、5市3町（赤平市、滝川市、砂川市、芦別市、富良野市、南富良野町、上富良野町、中富良野町）で構成しております空知川治水促進期成会による河川整備事業の要望であります。去る6月14日、15日の2日間、石狩川治水促進期成会と合同で国土交通省、財務省、北海道選出の衆参議員に対し、空知川の治水事業の促進・危機管理施策の促進、河川管理施設等の整備強化と適切な維持管理の促進などを要望してまいりました。

また、7月30日、31日には、石狩川治水促進期成会をはじめ15団体による北海道地方直轄河川合同要望を国土交通省、財務省に対し、防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策及び北海道の河川・砂防・海岸事業を着実に進めるための必要な予算の確保、今後の気象変動の影響を踏まえ

た治水計画の点検を行うとともに、十分な事前防災対策の推進を図っていただくよう要望を行ってまいりました。10月30日には札幌開発建設部に対し、平成28年8月の台風被害に伴う空知川河川整備事業の促進と地域の活性化に関する要望を町、町議会及び商工会、建設業協会の4団体で行いました。

要望の内容といたしましては、空知川河川整備事業促進のための整備予算の確保、河川整備工事での町内建設業者受注機会に關しての配慮、さらには河川整備工事に伴う資機材や燃料等の調達について、町内企業利用に關しての配慮、その他飲食・宿泊等における町内のサービス活用に關しての配慮を要望してまいりました。

また、北海道に対しましては、富良野圏域における河川整備促進に關する要望を行い、特に本町分としましては、ユクトラシユベツ川の平成28年

豪雨災害による雨量を踏まえ、河川断面の検討、河床にたまった土砂や雑木の除去による既存の河川断面の確保のほか、松井・川上地区の排水路拡幅などについて、早期着手の要望を行ってまいります。

その要望の結果、先般、ユクトラシユベツ川については、ＪＲ跨線橋から下流１００ｍの間、土砂雑木処理が実施されたほか、松井・川上地区の排水路拡幅などは、令和２年度に着手する旨関係機関より報告を受けております。

次に、道路事業では、道道石勝高原幾寅線の未改良区間の整備、現在整備しております道道金山幾寅停車場線の曲線緩和整備の早期完成など、北海道事業に対する社会資本整備要望を行っております。

ルートとして、交通車両の増加が見込まれ、交流人口の増加、さらには災害時における代替ルートとしての役割など、地域の活性化のためには欠くことのできない事業として、引き続き要望してまいります。

また、旭川十勝道路の整備促進、上川地方総合開発期成会においても、本町の開発に關する令和２年度の予算要望を行っており、今後も引き続き本町における治水関係事業、道路整備事業のインフラ整備など、国・道に対し要望を行ってまいります。

■ＪＲ根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる情勢

ＪＲ根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる９月定例会以降の状況についてであります。11月28日には根室線アキシヨンプラン実行委員会第2回幹事会が開催され、利用促進策の進捗状況や富良野く新得間における生活・観光・物流面からあるべき交通体系を検討していく上での材料として、今後20年間を想定した鉄道を維持する場合の費用やバスを運行した場合の試算資料について提示があり、引き続き地域と協議を進めていきたいとの説明を受けたところであります。

また、11月13日にはＪＲ北海道小山副社長が本町を訪れ、国の監督命令に基づいて四半期ごとに実施される国土交通省との検証結果として、ＪＲ北海道グループの2019年度第2四半期の決算状況についての説明と併せて、さきのアクションプラン実行委員会幹事会の資料の一部を持参され、今後も引き続き根室本線対策協議会を通じて、地域に対し丁寧な説明を行っていきたい旨の報告を受けたところであります。ＪＲと地域が一体となつて利用促進策に取り組んでい

るさなかの11月21日早朝には、ＪＲ根室線富良野く野花南間において、重機を積載したトレーラーが国道38号線を通行中、ＪＲ架道橋に接触したところにより、一部が損壊し、その影響により、芦別く東鹿越間の列車運行ができず、バスによる代行運転が行われ、その後の調査の結果、損傷部の補修に加え、鋼板による桁の補強工事におおむね3カ月が必要であるとの報道発表がなされ、併せて、富良野く東鹿越間については、旭川から富良野経由で車両を回送し、12月3日から上下7本の列車運行がされ、列車対応ができない便については、引き続き代行バスにより運行されることとなりました。

事故発生日の翌11月22日には、根室本線対策協議会として例年実施している鉄道フォーラムが本年は赤平市で会場に開催され、協議会構成



破損事故のあったＪＲ架道橋

(写真提供：北海道新聞富良野支局)

の7市町村から約100名の参加があり、終了後にはJR北海道から前日の破損状況について説明があったところでもあります。

一方、広域自治体である北海道は、JRの路線問題に関する道の立場を明確にするため、持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方の素案をまとめ、道内の鉄道網が観光客の移動手段や物流基盤として重要な役割を担っており、観光立国の推進や食料安全保障など、国家戦略的な観点からJRへの新たな財政支援の仕組みを構築することなどを国に求めている内容となっており、道は、この基本的な考え方に基づき、年度内に国への提言をまとめる方針であるとお聞きしております。

JR北海道がバス転換方針としている5線区のうち、石勝線の新夕張々々張間は、これまで3月末に廃線、札沼線の北海道医療大学々々新十津川間は、来年5月の廃止が決定さ

れ、今回、日高線の鶴川々々様似間においても、バス転換に向けた個別協議に入ることが決定されました。また、留萌線の深川々留萌間においては、存続の可能性を探りつつも、留萌市は単独で個別協議に入る方向にかじが切られている状況にあります。

5線区における各地域の事情はさまざまですが、その中でも根室本線については、1地域だけで論議する路線ではなく、北海道全体の鉄道網として広域的な視点で捉えることが必要であると考えますが、JR北海道の基本方針である鉄道よりも便利で効率的な他の交通手段への転換が一段と進んでいる中で、今回の架道橋接触事故により、さらに町民の皆様にはご不便をおかけしておりますが、本町といたしましては、北海道が年度内にまとめる国への提言において、富良野々新得間の具体的な方向づけがどのようなになるのか、また、法改正後の

国の支援策の枠組みなど、今後の諸情勢を見極める中で、議会の皆様や町民皆様のご意見をいただきながら対応してまいりたいと考えております。

■道の駅「南ふらの」の再編整備について

道の駅「南ふらの」の再編整備につきましては、本年8月に各町内会を通じてお知らせいたしました基本計画に基づき、具体的な整備を進めていくに当たり、今年度は道の



道の駅「南ふらの」

駅全体の運営計画の策定並びに基本設計を実施すべく、地方創生推進交付金を活用した事業に取り組んでおり、利用者ニーズを整理するための満足度調査をはじめ、昨年度町議会特別委員会の先進地優良事例研修として視察させていだいた内閣府の地域活性化伝道師であり、総務省の地域力創造アドバイザーである岐阜県郡上大和総合開発株式会社の水野代表取締役社長に、道の駅再建の実績者としてアドバイスをいただくこととしております。

また、施設運営の担い手となる事業者について、具体的な意向などを伺うサウンディング調査、民間事業者との調整、施設整備に向けた測量調査や地質調査を実施し、公園などを含めた基本的な全体設計を年度末までに取りまとめる計画となっております。

さらに、国土交通省が平成26年度から進めている重点道の駅の選定において、現在、道の駅「南ふらの」は重点候補となっており、来年度は地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した道の駅の新設、またはリニューアルなどの企画提案について募集が開始されましたので、現在計画している道の駅再編整備の内容をもとに、旭川開発建設部を通じ応募していると

本年度は全国で10カ所程度の選定が予定されており、重点道の駅に選定されず、施設整備に当たって国からの重点的な応援が可能になることから、基本設計の取りまとめと並行し、重点道の駅の選定に向けて取り組んでまいります。

■本年度住民の皆様との協働で実施しました防災の取り組み

本年度の住民の方を対象にした避難訓練につきましては、8月31日に1日防災学校と併せて、南富良野中学校を会場



1日防災学校（避難訓練）

にして、幾寅栄町町内会の皆様のご協力をいただき、約70名の参加を得て実施したところであります。

避難訓練に当たっては、ユクトラシユベツ川の氾濫を想定し、事前に町内会役員と打ち合わせを行い、各戸にチラシを配布するなどしたこと

から、当日はスムーズな避難行動がとられたところでありますが、実際に災害が起きた場合は、厳しい天候などの中の避難となり、車での避難が

多くなることも予想されることから、実際には避難所での臨時駐車スペースの確保も必要であり、このほかさまざま課題も明らかとなった、大変貴重な避難訓練でありました。

避難後は、体育館内に掲示した平成28年災害時の写真、災害関連用品、津波発生装置の見学、新聞紙を使ったスリッパ作りや段ボールベッド

組み立てなどの体験を行った後、協力をいただいた町赤十字奉仕団、陸上自衛隊第131特科大隊による炊き出し食を試食し、防災教育講演会を聴講し終了いたしました。

また、11月23日には、下金山自治連合会の主催で、豪雪により地域が停電したという想定で避難訓練を行い、下金山地区多目的センターを会場に、地区住民約70名が参加しております。

訓練では、住民周知に関して、一部の住民の方から「サイレンが聞こえない」などの

声があり、避難に少々時間を要しましたが、農家地域の方は車で、市街地域の方は徒歩で避難場所に避難されていました。

避難後は、町防災マネージャーから災害時の心得について、消防支署からは、消火器の操作等について説明を行い、参加者の皆さんが自主防災についての知識を学んだところであります。

本年度落合地区において実施予定の防災訓練につきましては、落合地区連合町内会と協議し、12月13日に防災講習会として落合地区多目的センターを会場に行い、当日は旭

川地方気象台職員による気象情報、災害情報の見方についての講話、町防災マネージャーから災害時の心得についての説明を行い、自助についての心構えを学んでいただきました。

なお、避難訓練については、落合地区連合町内会と協議し、明年4月に融雪による河川の

増水を想定した避難訓練を行うこととしております。

近年の全国各地での災害多発の状況を踏まえ、災害時の安全・安心対応については、行政の「公助」だけでは十分ではなく、自ら身を守る防災意識と行動の自助、そして地域での助け合いの共助の力もいただいで、住民皆様の安全と安心を確保していかねばならないと考えており、今後においても各町内会の協力を得て防災訓練等を行う中で、町民の防災に対する意識の向上を図ってまいりたいと考えております。

■陸上自衛隊の町内における冬季訓練予定

陸上自衛隊の冬季訓練につ

きましては、上富良野駐屯地から昨年同様、駐屯地所属の各部隊が明年1月中旬から3月中旬にかけて国設南ふらのスキー場で訓練を行いたい旨連絡を受けているところであり、部隊によっては旧東鹿越



自衛隊スキー訓練

小学校を宿营地として利用することもあるとの連絡を受けているところであります。

町としましては、今後とも引き続き陸上自衛隊の訓練実施に関しまして、協力してまいりたいと思います。

教育長の

教育行政報告



■南富良野中学校の英語活動

去る9月28日、旭川市において開催された第40回全道中学生英語暗唱大会上川地区予選会に南富良野中学校から3年生3名が参加し、2名が第2位並びに第3位の結果を収め、全道大会への出場権を獲得しました。残念ながら、大会の規定により、同一校から1名しか全道大会に参加できないことから、2位の生徒が11月24日に札幌市で開催された全道大会に参加しました。

英語教育の充実を図ってまいります。

また、去る10月25日には、富良野地区英語発表会が開催され、南富良野中学校から18名の生徒が参加し、暗唱部門、スピーチ部門、それぞれ優秀な成績を収めました。学年別暗唱部門では、3年生2名が第1位並びに第2位に、学年別スピーチ部門では、1年生が3名1組で参加し第1位に、また、2年生が4名1組で参加し第3位に、3年生1名が第1位になるなどの結果となりました。

教育委員会では、生徒の英語力向上を図るため、昨年より民間検定試験合格に向けた支援を開始し、本年度からは北海道教育委員会と連携し、全ての生徒を対象に英語検定を行い、生徒が自らの英語力を把握することで学習意欲を高め、学校では結果を分析することにより授業改善を進め、英語教育の充実を図ってまいります。

■南富良野中学校の部活動

南富良野中学校野球部に所属している3年生1名が、北海道中学軟式野球連盟が選出する、2019年度15歳以下北海道選抜選手24名のうちの1人として選ばれ、11月25日から28日まで台湾で開催された中学生軟式野球アジア選手権大会に出場しました。大会は日本からの3チームを含む12チームを3つのブロックに分け予選リーグを行い、北海道選抜チームは3連勝で勝ち



中学校ソフトテニス部

抜き決勝に進みました。決勝は、各ブロック1位通過の3チームにより行われ、北海道選抜チームは1勝1敗で準優勝となりました。

また、ソフトテニス部男子が10月14日に開催された富良野地区インドアソフトテニス大会に出場し、2年生ペアが優勝を収め、1月12日から岩見沢市で開催される北海道中学生ソフトテニス大会への出場権を獲得しました。さらに、11月30日には当麻町において開催された北海道中学生インドアソフトテニス選手権上川代表決定戦に出場し、第5位の成績を収め、1月10日から札幌市で開催される北海道インドアソフトテニス選手権大会への出場権も獲得しました。

■南富良野高等学校の部活動

成績

去る10月4日から7日まで、茨城県神栖市において開催されました第74回国民体育大会カヌー競技に、南富良野高等

学校3年生男子3名及び2年生女子1名の計4名が北海道代表として出場しました。成績は、4名全員が200m並びに500mカヤックで、それぞれ予選を通過し、準決勝に進出し、このうち3年生男子が200mカヤックシングルで決勝に進み、この種目の北海道男子代表としては、74回目の大会で初となる8位入賞を果たしました。



国体カヌー競技

委員会レポート

議会運営委員会

委員長 鹿野 重博

■議会報告会

令和元年11月28日に下金山地区多目的センターにて議会報告会を開催しました。

下金山地区から13名の住民に参加いただき、初めに議長より11月21日発生のJR根室本線芦別市野花南のトレラーの接触事故により運休となった件について、経緯と今後の対応についてJRから受けた内容について説明を行い、渋谷議員より令和元年第3回定例町議会について報告を行い、その後意見交換を行いました。

◎主な意見交換内容

- ・今回の事故により、このまま廃線という話にはならないのか。
- ・プレミアム商品券は、買った分使われているのか分かるのか。
- ・数年前から商品券を販売しているが、販売総額に達しているのか。
- ・換金されていない人がいると聞いているがどうなのか。
- ・議会報告会でもっと知れた

いこと（中身について）は報告もらえるのか。

・道の駅再編整備は本当にできるのか。町としてのプロセスがないのではないか。スピード感がなく先とお願したい。

・せつかくの報告会なので他の地区の議員さんにも地区の現状を把握していただいて一丸となって取り組んでほしい。

・生活圏としては富良野寄りになってしまいがちだが、農家としては地元にとっと住んでいるし、町として残ってほしいと思っている。広域的に考えて住民を守ってほしい。

・JRは存続してほしいが高齢者には厳しく、利用しづらい。バスなら停留所があり、数か所で乗降できる。

10月の金山地区に続き2回目の開催で、中身的には十分なところもあり、皆さんからいただいた意見をどう反映していくのか、また、定例会などの報告事項についてもより分かりやすくどのような伝えしていくのかなど検討して今後開催していきたい。また、

意見交換のテーマがあったらそれに沿って、次回開催することも検討していきたい。



下金山地区「議会報告会」の様子

総務常任委員会

委員長 大道 重治

■会計年度任用職員制度について

8月27日開催の総務常任委員会において制度の概要及び考え方について説明を受けたが、再度資料に基づき次のとおり所管課から説明があった。現在、本町では199名の方が「非常勤特別職」「臨時的任用職員」として働いており、令和2年4月からの施行に合

わせて会計年度任用職員に任用替となる。内訳としては、引き続き特別職として任用する方（国保運営協議会委員など）が114名、会計年度任用職員として任用する方（一般事務、保育士など臨時・非常勤職員他）が62名、現在、非常勤特別職または臨時的任用職員のうち来年度以降これらの職員として任用せずに団体または私人との委託契約に変更する方（交通指導員など）が22名、事業終了により任用しない方が1名となる見込みである。

12月に提案する条例案については、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関し必要な事項を定めるものであり、併せて施行に伴う関係条例の整備に関する条例について説明があった。

委員からは、この制度によつて会計年度任用職員に移行する職員の実質賃金下がることがないのか。公務出張による公務災害の取り扱いはどうなるのか。交通指導員は私人若しくは協会への委託となるのか。職務の級については上がることはあるのかなどの意見があった。

議会を傍聴してみませんか

議会の活性化のために、多くの町民の皆さんの傍聴をお待ちしています。

●3月定例会開催日●
3月5日から11日（予定）

■教育委員会教育長の任命
11月15日をもって1期3年の任期が満了となる岩淵秀一氏について、引き続き教育長として任命したいとして同意を求める議案が町長から提案され、投票採決の結果、賛成多数で原案のとおり同意することに決定しました。

令和元年第4回 臨時議会

11月11日

議会の動き

令和元年11月～令和2年1月

11月3日 ○南富良野町功労者表彰式
○南富良野町文化協会総合発表会
7日 ○上富良野駐屯地の現状規模の堅持
～8日 に関する中央要望（東京都）
9日 ○南富良野西小学校学芸会
11日 ○南富良野町議会第4回臨時会
○議会運営委員会 ○全員協議会
12日 ○決算審査特別委員会
～13日
12日 ○上川町村議会議長会臨時総会
（東京都）
13日 ○町村議会議長全国大会（東京都）
14日 ○南富良野町敬老会
14日 ○上川管内町村議会議長現地研修会
～16日 （岩手県、秋田県）
22日 ○鉄道フォーラム in 赤平（赤平市）
23日 ○防犯と交通安全の住民集会
26日 ○東京ふらの会総会（東京都）
28日 ○総務常任委員会
○下金山地区議会報告会
29日 ○町防災マネージャー着任に伴う歓迎会

30日 ○南富良野ジュニアカレッジ大会開会式
12月7日 ○南富良野町社会福祉大会
12日 ○議会運委員会
16日 ○南富良野町商工会正副会長来局
18日 ○南富良野町議会第4回定例会
～20日 ○議会運営委員会 ○全員協議会
○総務常任委員会
○決算審査特別委員会
○議会広報特別委員会
1月4日 ○消防出初式
6日 ○南富良野町新年交礼会
12日 ○南富良野町成人式
15日 ○上川町村議会議長会役員会
（旭川市）
17日 ○南富良野町商工会会員新年会
21日 ○新得町議会・占冠村議会との打ち合わせ
23日 ○大場剛第1特科団長来町に伴う歓迎会（上富良野町）
25日 ○自民党北海道第6区選挙区支部新春の集い（旭川市）
27日 ○沖縄県本部町交流団来町に伴う歓迎会

編集後記

新天皇が即位され「令和元年」となった昨年は、台風による東日本を中心とした大雨被害により多くの尊い命が失われました。また首相主催の「桜を見る会」問題や選挙違反疑惑などによる相次ぐ閣僚の辞任など、政治の世界においても国民の期待を裏切るような出来事が続きましたが、一方でラグビーW杯での日本選抜チームの活躍は多くの国民に勇気と感動を与えてくれました。そして今年には東京五輪のマラソンと競歩が札幌で開催されることになり、北海道においては大きな経済効果が期待されているところですね。

議会広報特別委員会ではこれからも町民の皆様に親しまれる紙面づくりを目指して広報紙の充実を図ってまいりますので、どうぞよろしく願います。

結びに町民皆様のご健康と南富良野町の発展をご祈念申し上げます。

（遠藤 謙一）

議会広報特別委員会

委員長	中野 博司
副委員長	洪谷 浩岐
委員	遠藤 謙一
委員	鹿野 重博
委員	酒井 年夫
委員	阿部 修一
委員	大道 重治